

令和7年度 神戸市政に対する要望

令和6年9月

神戸商工会議所

令和7年度 神戸市政への要望にあたって

神戸市においては、今年度補正予算の追加編成も視野に入れつつ、令和7年度の市政運営ならびに予算編成において、以降の項目を着実に実行されるよう要望する。

中小企業の事業継続・ビジネス変革への支援

コロナを転機とした社会全体の行動様式の変化に伴い、規模を問わず多くの企業がビジネス変革への対応を迫られている（事業再構築、DX推進、カーボンニュートラル等）。加えて、昨今の原材料・エネルギー価格の高騰、賃上げ対応や深刻な人手不足の長期化が、中小企業にとって大きな障壁となっている。地域経済を支える中小企業が安定して事業を継続し、ビジネスの変革に果敢に挑戦できるよう、行政による支援の継続と新たな施策の実行に取り組まれない。

神戸経済の発展を担う次世代産業の育成

神戸経済の持続的発展に向けては、神戸の優位性を活かした外資系企業等の誘致をはじめ、医療・ロボット・水素等の次世代産業や関連スタートアップの育成・支援を図ることも重要である。とりわけ、医療産業に関しては、これまでの実績や成果を基に、集積企業と地元企業との連携等により、『産業化』を進める段階を迎えている。今般取りまとめられた「神戸医療産業都市の将来像」の具体化を確実に図られたい。

国際都市・神戸の実現に向けて

世界から選ばれる国際都市・神戸の実現に向けては、都心・三宮やウォーターフロント、港湾、道路、利便性の高い空港など、都市インフラの整備を着実に進めると同時に、当地域が持つ強みを集約した観光・集客戦略（都市型観光の推進、六甲山等地域資源活用、MICE推進等）を地元行政が主導して練り上げ、地域一丸となって国内外に発信、推進していく必要がある。まずは3,000万人弱の来場が見込まれる「2025年大阪・関西万博」を機に神戸の観光資源・地域産業の魅力がグローバルに認知されるよう、情報発信に最大限取り組まれない。

令和6年9月

神戸商工会議所 会頭 川崎博也

要 望 事 項

1. 中小企業のビジネス変革・新事業展開支援

- (1) ビジネス変革・事業再構築への支援
- (2) 中小企業のデジタル化・DX推進、セキュリティ対策強化に向けた支援
- (3) AI等の先端技術のビジネス活用や社会実装の推進
- (4) 中小企業・スタートアップの知的財産活用の推進
- (5) 中小企業の販路開拓・国内や海外ビジネス拡大に向けた支援
- (6) 中小企業の脱炭素化・カーボンニュートラル実現に向けた支援

2. 中小企業の事業継続に向けた持続的支援

- (1) 原材料高騰やコストアップの影響を受ける中小企業等への支援強化
- (2) 多様な人材の確保に向けた支援
- (3) 円滑な事業承継支援
- (4) 地域商業の活性化に向けた支援

3. 神戸空港国際化に向けた対応

- (1) 神戸空港の利用促進・プロモーション強化
- (2) 神戸空港の規制緩和・撤廃に向けた働きかけ強化
- (3) 新ターミナルのプロモーション強化ならびに既存ターミナルの拡充検討
- (4) 時間軸・需要を見据えた南北アクセス強化に向けた地下鉄導入の検討

4. 都市基盤の整備

- (1) MICE誘致強化による神戸の都市価値の向上とポートアイランドの活性化
- (2) 都心・三宮の再整備加速化
- (3) 神戸港の国際競争力強化と安心・安全・魅力あるみなとづくりの推進
- (4) 道路ネットワークの早期整備

5. まちの賑わい創出

- (1) 神戸固有の自然資産等を活用した観光振興
- (2) インバウンド誘客促進に向けた支援
- (3) スポーツを核としたまちの魅力創造
- (4) 万博閉幕後を見据えた誘客プロモーションの展開

6. 神戸経済の次代を担う産業育成

- (1) 神戸のポテンシャルを活かした外資系企業の誘致強化
- (2) 地域経済を牽引するスタートアップ支援と次期エコシステムの実現
- (3) 神戸医療産業都市の産業化推進
- (4) 生活文化産業の振興

1. 中小企業のビジネス変革・新事業展開支援

コロナを転機とした社会全体の行動様式の変化に伴い、多くの企業が従来のビジネスモデルからの転換や既存事業の見直し、サステナビリティ経営等、新たな対応に迫られている。

については、ビジネス変革やデジタル化・DXの推進、国内外への販路拡大等、新たな事業に積極的に挑戦する中小企業を継続的に支援・育成するため、以下の施策を進められたい。

(1) ビジネス変革・事業再構築への支援

- 事業再構築補助金の継続と適切・円滑な運営に向けた国への働きかけ（交付決定までのプロセス迅速化等）
- 小規模企業持続化補助金の十分な予算確保、制度存続に向けた国への強力な働きかけ

(2) 中小企業のデジタル化・DX推進、セキュリティ対策強化に向けた支援

- DX導入に向けて、中小・小規模事業者がデジタル化に取り組むための補助制度の新設
- 中小企業DX推進支援補助制度の継続・拡充（補助率引き上げ・限度額拡充等）
- 副業・兼業・OB人材の活用支援等、デジタル人材の育成や人材確保のための施策の拡充
- サイバーセキュリティを強化する支援策の実施（関連ツール紹介等）

(3) AI等の先端技術のビジネス活用や社会実装の推進

- 生成AI等の新たな技術やスタートアップ等が展開するサービス活用を通じた行政課題の解決、そこで得られた知見を活用し、民間共有や地元企業のビジネス実装支援に展開すること
- 施設利用料の補助等、マイクロソフトAIラボを中小企業でも利活用しやすい枠組みの構築と支援策の実施

(4) 中小企業・スタートアップの知的財産活用の推進

- 「知財経営支援モデル地域創出事業」を通じた事例の積極的な創出と成果共有を図ることにより、市内全体で知的財産活用経営を一過性のものとせず、継続的な機運上昇につなげる取り組みの実施

(5) 中小企業の販路開拓・国内や海外ビジネス拡大に向けた支援

- 販路開拓に向けた取り組みを支援する助成制度の創設、販路開拓イベントや伴走支援の実施
- 海外事務所等を活用した現地ビジネス情報の発信強化、海外企業とのビジネスマッチングの実施等、海外ビジネス支援策の展開

(6) 中小企業の脱炭素化・カーボンニュートラル実現に向けた支援

- 中小・小規模事業者の脱炭素化を支援する小口補助制度の拡充
- 「省エネ設備更新補助金」の継続実施・制度拡充
- あらゆる相談にワンストップで応じる「脱炭素化に向けた総合相談窓口」の創設

《会員企業からの意見》

- ・ 企業の成長には研究開発や設備投資への投資は避けられず、これからの時代はDX投資が必要不可欠になる。神戸市には地元企業に寄り添った、踏み込んだ独自の政策を実行いただきたい。【製造業】
- ・ DX支援について、企業単独で対応するには限界があることから、DX化の導入事例の共有や対応事業者とのマッチングの機会創出、行政としてのモデルケース展開、費用面・環境面での補助の仕組みづくりをお願いしたい。【電気業】
- ・ 中小・零細企業の経営力実態に応じた、採択ハードルが低い事業再構築支援等の補助金・助成金制度の拡充をお願いしたい。【金融業】

2. 中小企業の事業継続に向けた持続的支援

原材料やエネルギー価格の高騰、賃上げへの対応、ゼロゼロ融資の返済本格化、深刻な人手不足等、中小企業経営にとっては依然として厳しい経済環境が続いており、自助努力では対応困難な状況に陥っている。

については、地域経済・雇用を支える中小企業が、事業の継続が図られるよう、以下の施策に取り組まれない。

(1) 原材料高騰やコストアップの影響を受ける中小企業等への支援強化

- 中小・小規模企業の事業継続を支援するための、原油価格・物価高騰・最低賃金への対応に係る施策の実施
- 事業環境変化に対応した機動的な支援策の実施
- 制度融資等の金融支援制度の拡充による資金繰り支援
- 取引適正化(適正な価格転嫁)・付加価値向上に資する「パートナーシップ構築宣言」の普及促進

(2) 多様な人材の確保に向けた支援

- 若年層を呼び込む採用・転職支援イベントの開催や人材確保に繋がる助成制度の充実(民間企業が実施する採用支援イベントへの出展費補助等)
- 外国人留学生を中心とした高度人材の地元就職を促進する支援施策・助成制度の創設
- 外国人材の活躍推進(採用・育成・定着)に対する支援強化(市内企業に関する就職情報の発信・生活面を含めた行政による受入環境の整備)

(3) 円滑な事業承継支援

- 兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携強化、事業承継支援策の強化・拡充
- 「事業承継支援資金」等、公的融資の周知・利用促進

(4) 地域商業の活性化に向けた支援

- 商店街・小売市場の空き店舗対策やリノベーション助成等、活性化策の拡充
- 神戸の優れた食文化の発信による都市誘客力向上(レストランガイド発行に係る費用の予算化)

《会員企業からの意見》

- ・ サプライチェーンのように、どの大企業も中小企業なしでは自社事業が成り立たない。その基盤となる中小企業の各支援策についても、滞りなく実施いただきたい。【製造業】
- ・ 電気・エネルギー・原材料・人件費の高騰に苦勞している。保証協会や公庫への資金繰り支援を促してほしい。現在、中小企業への支援メニューがあまりない。【製造業】
- ・ 兵庫県、神戸市主催の地元企業の採用・転職イベントへの注力により、人口流出防止、人口流入の促進をお願いしたい。【建設業】
- ・ 少子高齢化に伴い、特に3Kと呼ばれた製造業での人材不足が見込まれ、若い世代への技術力の伝承に危惧している。高等学校生のインターンシップ受入企業に対して助成金を支給する等、事業所の負担軽減を求めたい。【板金業】

3. 神戸空港国際化に向けた対応

航空需要が高まる中、神戸空港は 2025 年国際チャーター便運用開始と国内線発着枠の拡大、2030 年前後の国際定期便就航が決定し、いよいよ念願の国際化が実現する。今後は、中長期視点に立ったターミナルの整備、CIQ 体制、交通アクセスをはじめとした空港の受入態勢・利便性向上に万全を期すとともに、神戸空港の認知度を高め、顧客から選ばれる稼働率の高い空港を目指して、以下の施策に取り組まれない。

(1) 神戸空港の利用促進・プロモーション強化

- 神戸空港の認知度向上に向けた国内外への PR 施策の展開
- 神戸以西の需要獲得に向けた積極的なプロモーション活動
- 新たな国内就航地の開拓、国際チャーター便の誘致促進

(2) 神戸空港の規制緩和・撤廃に向けた働きかけ強化

- 更なる発着枠の拡大・運用時間の延長（24 時間化）、規制撤廃に向けた働きかけ
- 国際チャーター便・プライベートジェットの円滑な受入に向けた CIQ 体制の整備

(3) 新ターミナルのプロモーション強化ならびに既存ターミナルの拡充検討

- 新ターミナルを活かした国内外へのプロモーション・利用促進
- 2030 年国際定期便就航に向けた、既存ターミナルの整備・拡充の早期検討
- カーボンニュートラルエアポート実現に向けた取り組み強化

(4) 時間軸・需要を見据えた南北アクセス強化に向けた地下鉄導入の検討

- 2030 年代を目途とする短期・中期でのポートライナー輸送力強化や代替手段としてのバス利便性向上等、混雑緩和策の充実
- 2050 年代以降を見据えた新神戸～神戸空港間を結ぶ地下鉄導入の早期検討
- 新神戸トンネル南伸事業の早期完了に向けた予算措置

《会員企業からの意見》

- ・ 神戸空港の国際化に伴う新神戸駅や三宮駅とのアクセス向上や道路整備に期待。【不動産業】
- ・ 神戸空港は便利なのでビジネスでよく使っている。国際化の話もあるが、国内便ももう少し充実させてほしい。離着陸時間の延長を希望する。【卸売業】
- ・ 神戸の活性化のためには、道路ネットワーク整備と神戸空港の競争力強化は不可欠。大阪湾岸道路西伸部の早期完成と神戸空港の 24 時間化・国際化のための拡張を進めてほしい。【建設業】

4. 都市基盤の整備

都心・三宮やウォーターフロントエリアをはじめ、都市基盤の整備が進む中、激化する都市間競争を勝ち抜くためには、各プロジェクトの相乗効果により神戸が持つまちの魅力を最大限発揮し、国内外から人や企業を呼び込むことが重要になる。

については、既存プロジェクトの着実な実行とともに以下の取り組みを進められたい。

(1) MICE 誘致強化による神戸の都市価値の向上とポートアイランドの活性化

- 陸海空のアクセス・民間活力を活かした神戸コンベンションセンター（神戸国際展示場・会議場）再整備計画の早期具体化・計画策定
- 神戸コンベンションセンターのリニューアルを核とするポートアイランド・リポートプロジェクトの早期検討

(2) 都心・三宮の再整備加速化

- 都心・三宮再整備プロジェクトの着実な推進
- ウォーターフロントエリア整備の着実な推進、近隣エリアとの回遊性向上に向けた施策展開
- 新神戸駅前における賑わい機能の新規整備

(3) 神戸港の国際競争力強化と安心・安全・魅力あるみなとづくりの推進

- カーボンニュートラルポートの早期実現と脱炭素化を図る民間設備の更新支援
- 基幹航路の維持・拡大および集荷・創貨の促進
- 防災・減災に備えた港湾インフラの強化及び老朽施設等の高度化推進
- クルーズ船の誘客促進による地域活性化（神戸発着クルーズへの補助拡充等）

(4) 道路ネットワークの早期整備

- 大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）の早期開通に向けた働きかけ
- 神戸西バイパスや名神湾岸連絡線等周辺道路ネットワークとの一体的かつ早期整備に向けた働きかけ

《会員企業からの意見》

- ・ MICE 誘致と神戸空港国際定期便就航獲得に向けて、ポートアイランドと市街地とのアクセス強化が求められるため、より充実した交通インフラ整備を希望する。【ホテル業】
- ・ MICE 誘致については、万博後に大阪に大きくシフトしていくことが懸念される。施設のリニューアルやサービス向上等、更なるメリット・魅力が感じられるよう対策をお願いしたい。また、阪神高速の慢性的な渋滞の解消（ミッシングリンクの解消）のため、湾岸線西伸部の整備を、スピード感を持って進めて欲しい。南北のアクセス強化としての地下鉄整備等も検討願いたい。【建設業】
- ・ 神戸港構想等の早急な推進。次世代産業の振興が遅く、企業との一体感が必要。推進と並行して雇用への対応が必須。（神戸市内はいずれにおいても交通の便の改善が必要）【倉庫業】

5. まちの賑わい創出

「2025 年大阪・関西万博」の開催が迫り、インバウンド需要が急激に回復・拡大する中、世界から選ばれる国際観光都市・神戸に相応しい観光・集客戦略を策定・実行する必要に迫られている。とりわけ、地域資源の有効活用や社会ニーズの変化を的確に捉えた観光誘客を推進するとともに、神戸の新たな魅力・情報の発信強化を図りたい。

(1) 神戸固有の自然資産等を活用した観光振興

- 六甲山や須磨海岸、布引の滝等、神戸固有の自然資産を活用した観光誘客の推進
- 都心部から六甲山に直結する新たなアクセス整備（新神戸駅と掬星台をダイレクトに結ぶロープウェイの早期具体化・整備計画の策定）
- 自然資産を活用した体験型アクティビティの開発、情報発信

(2) インバウンド誘客促進に向けた支援

- 市内企業の訪日外国人観光客受入態勢の整備や販促につながる支援策の展開
- ターゲットを見据えた効果的な海外プロモーションの実施
- 外国人観光客を対象とした着地型コンテンツ開発、ナイトタイムエコノミー推進
- 神戸観光局をはじめ、近隣 DMO 等と連携した広域での観光誘客・インバウンド誘客の推進

(3) スポーツを核としたまちの魅力創造

- 「神戸アリーナ」を活用したウォーターフロントエリア周辺の活性化、近隣エリアとの相乗効果の発揮
- 「神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会」のレガシーを活かした障がい者に優しいまちづくりの継続実施
- 「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西大会」を契機とした神戸の魅力 PR、市内の周遊促進に向けた施策の実施
- 神戸の立地特性（近郊にゴルフ場が集積、六甲山系）を活かした、ゴルフや登山を核としたスポーツツーリズムの推進

(4) 万博閉幕後を見据えた誘客プロモーションの展開

- 万博来場者に対して神戸への来訪意欲を高める誘客戦略・キャンペーンの実施
- 海外ビジネス訪問団の神戸への積極的な誘致・受入体制づくり
- 地元企業のものづくりツアー等、神戸の産業・企業を海外に PR する取り組みへの支援策の展開

《会員企業からの意見》

- ・ 2025 年開催の大阪万博の影響で、インバウンド需要が拡大すると思うが、神戸の街の魅力情報を特にデジタルメディアを活用して、神戸市として発信してほしい。【店舗会】
- ・ アリーナもできることを考えて、三宮駅近辺にケミカルシューズ・スポーツ関連シューズのミュージアムがあれば良いと思う。【建築加工業】
- ・ 三宮－新神戸間は発展する余地があると思う。神戸は他の地方都市と異なり、まだアーケード街（商店街）があるため、商店街巡りのスタンプラリーや各所で使えるチケットと阪急・阪神線の乗降自由の切符等を併せて販売できると散策に使えるかもしれない。インバウンドの人が少ないと思うが、食（中華街・神戸牛）や歴史を PR すればインバウンドが増える余地があると思う。【建設業】

6. 神戸経済の次代を担う産業育成

神戸経済を発展させるには、社会経済の変化を的確に捉えつつ、神戸の次代を担う企業や産業の誘致・育成、関連スタートアップの支援を図ることが不可欠となる。さらには、神戸経済の基盤である地場産業のイノベーション創出や、国内外への産業プロモーションも必要となる。

については、産業育成やそのための事業環境の整備に向け、以下の取り組みを進められたい。

(1) 神戸のポテンシャルを活かした外資系企業の誘致強化

- 海外事務所を活用した有力外資系企業の誘致活動の展開
- 外資系企業に勤める外国人社員子女のインターナショナルスクール学費助成制度の創設
- 外国人留学生向けインターンシップの推進、外国人留学生の当地への定着に向けた支援拡充（国際人材を求める中小企業と市内で学ぶ留学生のマッチング強化）

(2) 地域経済を牽引するスタートアップ支援と次期エコシステムの実現

- 5年後を見据えたエコシステムの絵姿（神戸 NEXT スタートアップビジョン）の検討
- 「ひょうご神戸ファンド2号」の立ち上げ、投資ファンド・キャピタリストの招聘
- 医療やバイオ、水素等神戸の強みが活かせる分野に重点を置いたスタートアップ誘致
- 海外政府機関等とのリレーション強化による海外からのスタートアップ誘致
- 知的財産活用経営の機運上昇に繋がる取り組みの実施

(3) 神戸医療産業都市の産業化推進

- 「神戸医療産業都市の将来像」の具体化を実現する施策の実施
- 市内及び国内外に向けた取り組みや成果の発信強化、関連企業・人材の誘致促進
- メディカルクラスターの特長を活かした、「検診」と「観光」を目的としたメディカルツーリズムの積極的な受入推進

(4) 生活文化産業の振興

- 都心部やターミナル近接地等での地場産業の常設展示・販売場所の確保
- 交通機関（地下鉄・新交通・ベイシャトル等）と協力した外国語での地場産業や商品のPR（ショッピングツーリズムの強化）
- 神戸の生活文化産業の技術力を発信する海外展示会出展への取り組み支援
- 各国の主流 SNS を活用した情報発信強化

《会員企業の意見》

- ・ 兵庫県内、神戸にはすばらしい地場産業やものづくりの技術、拠点がたくさんあるが、それらの認知度を高めるためにも何らかの支援策は必要と考える。【食品製造業】
- ・ 医療×食の可能性模索。多くの食品メーカーが存在しているという県のリソースを医療産業都市にて活用する。食を治療手段の一つとしてとらえ、兵庫の食品メーカーと連携し治療用食を開発。医療ツーリズムとして、海外から来た方々に医療(ドック)に加えて食の提供も行う。【食品製造業】
- ・ バリアフリーをさらに進める等高齢者のQOLを高める”エイジフレンドリー”なまちづくりをすることにより、「医療産業都市」から「市民健康増進都市」「ウェルビーイング先進都市」を目指して欲しい。【建設業】
- ・ 高度な医療研究成果を実際の経済活動に落とし込み、地元の中小企業が商流に関与できるようにする連携の仕組みづくりをお願いしたい。【金融業】

以 上